

1 学校研究主題

自分の思いや考えをもち、「伝える」「表現する」力を伸ばす和倉っ子をめざして

～魅力ある授業づくりを通して～

2 学校研究主題設定の理由

本校では、「自ら学び、共によりよく生きようとする児童の育成」の実現に向けて、魅力ある授業づくりを通して、『自分の思いや考えをもち、「伝える」「表現する」力を伸ばす和倉っ子』を目指すことにした。その根拠としては、昨年度の1月の学力調査の結果から見えてきた本校の弱点である『目的意識をもって複数の資料から必要な情報を取り出し、わかりやすく伝えたり、適切に表現したりする力』及び、4月の中旬に実施した「わくらっ子質問紙」（児童アンケート2～6年）において、肯定的な回答をした児童の割合にある。

- ① 友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。(46.4%)
- ② 最後まで友だちの意見や話を聞くことができるか。(90.4%)
- ③ 話し合うとき、友だちの考えを受け止め、自分の考えをもつことができるか。(85.7%)
- ④ 自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章など話の組み立てを工夫しているか。(69%)
- ⑤ 自分の考えを友だちに伝えたり、相手の考えを聞いたりするなど、伝え合う活動は楽しいか。(71.4%)

上記の結果から見ると、肯定的に捉えている児童が多い部分もあるが、発表に対して抵抗感をもっている児童が多いと分かった。また聞くことはできても伝えるとなると自信がもてなかったり、伝え方がうまく分からないといった実態もある。他の質問項目においても、全校児童の中には学習活動において少なからず抵抗感や苦手意識をもつ児童がいるということが分かった。

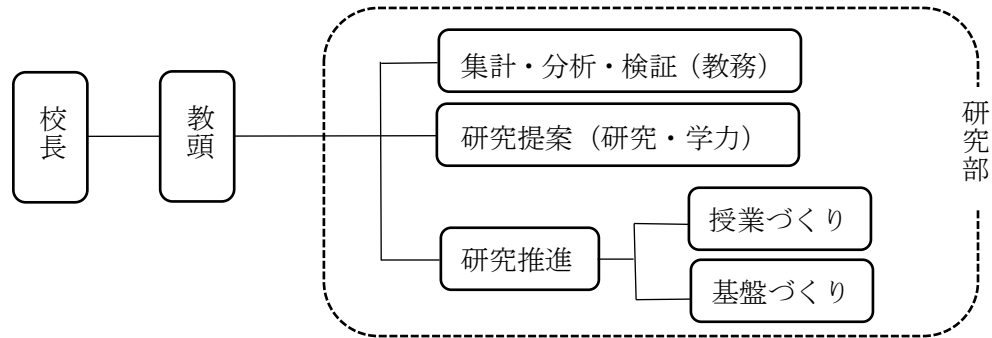
これらの結果や実態を踏まえ、全職員でも児童に付けたい資質・能力や新しい学びの方向性について話し合い、明確なビジョンを共通理解し、今年度の学校研究を設定した。自分の思いや考えをもち、「伝える」「表現する」力を、児童が主体的に伸ばせるような国語科の「魅力ある授業づくり」を中心に付け、の育成を図っていきたい。そして、他教科へ波及させる方向で実効性ある研究を進めていく。

3 児童に付けたい資質・能力／めざす児童像

資質・能力 自分の思いや考えをもち、よりよく伝えたり表現したりすることのできる力

- (1) 主体的に学びに取り組み、自分の考えを表現できる児童
- (2) 相手の考えを大切にし、生かすことができる児童
- (3) 自分の姿や変容をふり返ることができる児童

4 学校研究組織



- (1) 集計・分析・検証 — **R** **C** 学力調査・質問紙・検証結果等を分析し、授業改善に役立てる。
- (2) 研究提案 — **P** **A** 校内研究や学力向上に関わる取組等を提案する。
- (3) 研究推進 — **D** 研究提案チームのプランを実践し、進捗状況を確認する。

5 授業研究計画

〈重点項目及び取組内容〉

月	研究提案	研究推進	研究授業計画
4	校内研修全体会 ・今年度の研究方針決定と共通理解 ・指導案形式提案 ・学力向上タイムスケジュール作成と提案 ・帯タイム計画作成実施 ・朝自習の計画作成実施 ・支援体制の立案実施	研究体制の確認 ・学習の構え8項目の確認 ・ノート指導（漢字・算数） ・ミニ研修会（学級経営，プログラミング，学習指導） ・家庭学習モデル作成・配布 ・自学のてびきの作成・配布 ・和倉っ子がんばりカード ・宿題忘れ0調べ・表彰	・校内年間授業研究確認 ・研究授業計画立案 要請訪問 8日 なかよし小川 （特別支援における国語科授業の進め方）
5	・校内研修全体会・指導案形式決定 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・学習だより（学習規律） ・お手本ノートの紹介 ・宿題忘れ0調べ・表彰	要請訪問 9日 ・国語科でつきたい資質・能力などに関わるご講話 ・授業実践参観（国語科）全員
6	・校内研修全体会 ・模擬授業 ・支援体制の見直し ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会	・宿題忘れ0調べ・表彰 ・和倉検定強化期間	要請訪問 10日 3年西田（提案授業）国語科
7	・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 ・帯タイムの見直し ・1学期のふり返り ・補充学習	・8項目自己評価 ・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・学習だより（和倉検定） ・宿題忘れ0調べ・表彰	学校訪問A 8日 6年三野（指定）国語科

8	<ul style="list-style-type: none"> ・補充学習 ・帯タイム改善策計画 ・支援体制改善策計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・和倉っ子がんばりカード ・ミニ研修会 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・帯タイム改善策実施 ・支援体制改善策実施 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の構え8項目の再確認 ・学習だより（市学力テスト・学習規律） ・宿題忘れ0調べ・表彰 	要請訪問 11日 2年白根 国語科 学校訪問B 30日 1年真木（指定）国語科
10	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の充実 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 ・他校授業研究会参加促進 ・報告還流 	<ul style="list-style-type: none"> ・8項目自己評価 ・宿題忘れ0調べ・表彰 	要請訪問 21日 4年卜部 国語科 要請訪問（スマイルサポート） 4日 わかば遠藤 特別支援
11	<ul style="list-style-type: none"> ・他校授業研究会参加促進 ・報告還流 	<ul style="list-style-type: none"> ・8項目自己評価 ・宿題忘れ0調べ・表彰 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・支援体制改善策計画 ・帯タイムの見直し補充学習 ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題忘れ0調べ・表彰 ・学習だより（市学力調査に向けて） 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・帯タイム改善策計画・実施 ・支援体制改善策実施 ・支援の充実（3・5年） ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の構え8項目の確認 ・和倉っ子がんばりカード ・宿題忘れ0調べ ・表彰お手本ノートの紹介 	学校訪問C 23日 全員授業公開
2	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修全体会（次年度に向けて） ・指導案検討会 ・模擬授業 ・授業整理会 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題忘れ0調べ・表彰 ・和倉検定強化期間 	要請訪問 12日 5年藤原 国語科
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究のふり返し ・来年度の計画 ・学力向上プランの見直し ・活用問題テスト実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・和倉検定 ・和倉検定の復習期間 ・8項目自己評価 ・宿題忘れ0調べ・表彰 	

6 具体的な取組

(1) 授業研究

「伝える」「表現する」力を伸ばすために

導入

学び合い

振り返り

① 見通しのもたせ方の工夫

- ・児童に考えをもたせるために、どのような教師の手立てが必要か。(教師が一方向的に考え方を与え過ぎないように意識する)

② 自分の考えの伝え方の工夫

- ・活動に応じた学習形態を工夫 (ペア・グループ・ワークショップ型など)
- ・学年に応じた自分の考えの伝え方の工夫 (文・言葉・カード・表や図・絵・吹き出し・ノート交換など)

③ 振り返りの在り方

- ・伝え合った後の自分を見つめる。(個の振り返り)
- ・相手の話を聞いて、自分の考えと比較してどうだったか。

(2) 学力・学習の基盤づくり

① 学びの土台

★ 学習の構え 8 項目

学習の構えとして、「持ち物」「学習準備」「学習静止」「座り方」「ベル学」「授業はじめと終わりのあいさつ」「はいの返事」「挙手のしかた」の項目に、児童と教師が共通理解のもとに取り組む。

- ・月末の 28 日は、チャレンジデーとして 8 項目がどうだったかを振り返る。
- ・「わくらっ子学習の合言葉」として、『目線 返事 ピタ・ピン・グー』を意識できるようにする。

② 書く力の育成

- ・音読の家庭学習（毎日）
- ・図書館司書と協力して並行読書の取組

③ 基礎・基本の確実な定着と活用力アップ

★ 基礎・基本の練習

- ・朝…算数（基本問題プリント，ドリル），読み聞かせと読書（水曜日の朝）
国語（一斉音読，言葉のきまり，漢字練習）

	月	火	水	木	金
朝自習 8:15～8:25	算数	国語	低読書／高新聞 読み聞かせ	算数	国語 (条件作文)
放課後	活用問題 再チャレンジ 基礎・基本の定着など				

★ 和倉検定

漢字・算数・ローマ字和倉検定に向け強化週間を設けて全校で学習に取り組み，検定を実施することで，学期ごとの基礎基本の学習内容の定着を図る。できるだけ全員の定着をめざす。

- ・ローマ字…6月・11月・2月の第1金曜日
- ・漢字 … ” 第3金曜日
- ・算数 …7月・12月・3月の第1金曜日

④ 家庭との連携

★ 家庭学習「宿題忘れ0」

全校的な「宿題忘れ0」への取組や家庭との連携等を通して，家庭学習の徹底を図る。

- ・毎月の宿題パーフェクト賞
- ・連絡帳や生活ノートを活用

★ 家庭学習の充実としての自学の取り組み

- ・毎日の家庭学習に組み入れる。
①音読 ②教科の課題（クラスの課題）＋③自学ノート
- ・和倉っ子よい自学の日

★ 音読の家庭学習

毎日，音読を家庭学習として出し，保護者に音読カードに印をつけてもらう。

7 学校研究全体構想図

《学校教育目標》

自ら学び共によりよく生きようとする児童の育成

《研究主題》

自分の思いや考えをもち、「伝える」「表現する」力を伸ばす 和倉っ子をめざして
～魅力ある授業づくりを通して～

〈めざす児童像〉

- (1) 主体的に学びに取り組み、自分の考えを表現できる児童
- (2) 相手の考えを大切にし、生かすことができる児童
- (3) 自分の姿や変容を振り返ることができる児童

「伝える」「表現する」

Aパターン

- ① 自分の考えをもち
- ② 学び合いで伝える



見通しのもたせ方

- ・導入場面の工夫
- ・見通しのもたせるための教師の手立て

Bパターン

- ① いまいち自分の考えがもてない・・・
学び合ってから
- ② 自分の考えをもち



魅力ある授業づくり

振り返りの在り方

- ・まとめや振り返りの工夫
- ・授業前後の変容

学び合い

- ・相手意識、目的意識
- ・学習形態の工夫
- ・自分の考えの伝え方の工夫